

「公益社団法人日本介護福祉士会 創立 30 周年に寄せて」

公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 会長

野口 百香



公益社団法人日本介護福祉士会創立 30 周年、誠におめでとうございます。

昭和 62 年に国家資格として介護福祉士制度が創設され、平成 6 年 2 月に協会設立総会が開催されたと伺っております。当時の協会ニュースを拝見しますと、既に増大・多様化する国民の介護ニーズに対し、的確に介護サービスを提供できるよう質の高い介護福祉士の養成に務め、介護福祉士一人一人の着実な業務遂行と研鑽を重ねる努力が介護の社会的評価の向上につながり、「今後の福祉社会における介護サービスの質を支えるのは私達である」とする初代会長田中雅子氏の強い自信と信念が述べられています。その後 30 年間に渡り、「介護」と言う新たな福祉領域の専門職として基盤を整備し、協会を発展に導いて来られた現及川ゆりこ会長はじめ歴代の関係者の皆様のご努力に心より敬意を表します。

さて、医療や福祉を取り巻く環境や制度はこの 30 年で大きく変わりました。退院は比べものにならないほどに早まり、高齢社会と相まって、介護を必要とする状態での退院は当たり前となりました。膨らむ介護ニーズに対し、ケアに携わる介護福祉士の皆様は、私たち医療ソーシャルワーカーにとっても、最重要パートナーのひとりです。その人らしい生活を支える福祉専門職として協働し、これからも一緒に国民一人一人の well-being の実現に共に取り組んで参りたいと思います。今後の貴会の益々の発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。